

平成 25 年度の耐震化事業の結果について

平成 25 年度に実施した公共建築物の耐震化事業（耐震診断、耐震改修工事）の結果は次のとおりです。

1 公共建築物の耐震化事業の状況

(1) 平成 25 年度実施の耐震診断

	施設名	所在地	診断結果 Is値 ^{※1} (最低値)	備考
1	レイ・ウェル鎌倉	小袋谷二丁目14番14号	0.19	平成26年4月1日 施設廃止
2	大船消防署備蓄倉庫	大船三丁目5番10号	0.68	改修不要
3	老人いこいの家 「こゆるぎ荘」	腰越二丁目9番12号	0.12 ^{※3}	平成26年10月1日 施設廃止
4	教養センター	笛田二丁目17番1号	0.61	改修不要
5	鎌倉体育館	由比ガ浜二丁目9番9号	建物全体0.71 (鉄骨屋根改修要)	平成26年度 耐震改修設計

(2) 平成 25 年度実施の耐震改修設計（中止）

	施設名	所在地	診断結果 Is値 ^{※1} (最低値)	備考
1	腰越子ども会館（木造）	腰越五丁目2番10号	0.38 ^{※3}	解体済み
	こしごえ子どもの家		0.28 ^{※2}	

(3) 平成 25 年度実施の耐震改修工事

	施設名	所在地	診断結果 Is値 ^{※1} (最低値)	備考
1	大船行政センター	大船二丁目1番26号	改修前 0.36	耐震改修完了 (改修後のIs値 0.79)

※1 建物の耐震性能を表す構造耐震指標（Seismic Index of Structure）

※2 こしごえ子どもの家は軽量鉄骨造のため、Is 値は参考値

※3 木造の場合は、上部構造評点（倒壊する危険性を判定する指標）

2 耐震性能の指標について

(1) I_s 値とは

I_s 値は建物の耐震性能を表す構造耐震指標 (Seismic Index of Structure) の略で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や劣化を考慮して算出するものです。

I_s 値が大きいほど、構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性が高いと判断されます。

国の基準では、「 I_s (各階の構造耐震指標) が 0.6 以上の場合で、かつ、 q (各階の保有水平耐力に係る指標) が 1.0 以上の場合、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。

(2) 上部構造評点とは

上部構造評点は、木造建築物の各階・各方向について、想定地震に対して必要な耐力と建築物が保有する耐力の比で表したものです。

上部構造評点が高いほど想定地震に対する安全率が高くなると判断されます。

評点 1.0 が、建築基準法の求める大地震時性能を有しているかどうかの判断基準となり、1.0 を下回れば、倒壊する可能性があります。